

# 津駅周辺道路空間検討委員会 (第2回) 議事要旨

1. 日 時 令和3年12月24日(月) 14:30~

2. 場 所 アスト津 4階 アストホール

3. 委 員 別紙のとおり

## 4. 議 事

- 1) 津駅周辺道路空間 社会実験結果の報告
- 2) 津駅周辺の現状と課題
- 3) 津商業高等学校意見発表
- 4) 津駅周辺空間コンセプト(案)
- 5) その他

## 5. 委員からの意見

### 1) 津駅周辺道路空間 社会実験結果の報告事例

- ・社会実験中に県道津停車場線から内側の街区で駐停車が増加したことは問題だと考える。津駅周辺における駐停車場所の確保は重要。(津商工会議所 女性会会長)  
→「公共交通の利用促進」が今後の社会の方向性として掲げられるとともに、駐停車の需要と周辺民間駐車場の供給とのマッチング・バランスの検討が今後の課題であると認識。今後、「津駅周辺空間のコンセプト」を決めていくにあたり、駐停車は非常に重要な観点であるので、議論を深めていきたい。(三重県県土整備部 部長)
- ・今後、検討を行う中で、小学生の通学等の妨げとならないことが一番ではないかと考えるが、通学路を迂回させるのか、現状のままで注意喚起をするのか、教えていただきたい。(近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科 教授)  
→小学校の通学路に該当しており、通学路としての安全な歩行空間が最も重要視されることだと認識しているので、今後、検討していきたい。(三重県県土整備部 道路企画課)
- ・今回は、上り・下り双方向の車線を減少させ、社会実験を行った。別の方法として、減少車線を片方向に寄せて広大な空間を確保するやり方もあると考えている。今後、空間確保に向けた車線減少のバリエーションについて、大きな支障が想定される箇所があれば教えていただきたい。(三重県県土整備部 部長)  
→片側に寄せた場合、津駅から出ていく車両について混雑が発生する可能性があるため、今回の実験と同程度の空間規模で実施していただいた方がよい。また、社会実験期間中、停車場線の信号からロータリーに至るまでの導流路での駐停車が非常に多かった。もともとタクシーと一般車両との接触事故が多数発生しているため、長期間の社会実験により駐停車車両が増加した場合、接触事故の増加が懸念される。(三重県タクシー協会 津支部長)

### 2) 津駅周辺の現状と課題

- ・現状の津駅利用は、通学や官公庁への利用がほとんどではないか。少し駅から離れると自家用車利用になっているのではないかと考えている。(三重県トラック協会 専務理事)  
→公共交通機関やタクシーを利用される方について、朝方は周辺企業に向かわれる方だけといった状況である。県外・市外から津駅に来ていただかないと駅前の活性化に繋がらないと考えている。(三重県タクシー協会 津支部長)
- ・津市は、津駅を中心に、「恵日山 観音寺(津観音)」、「高田本山 専修寺」等の文化財まで、タクシーで15分程度とアクセスが良い。加えて、日本三名泉の一つである榊原温泉もあるが、現状として来訪者が少ない状況。広報・PRの拡充や、多様な観光施設との連携、バス

路線の拡充などを図ることで、津市の魅力が増し、外部からの来訪者の増加・公共交通機関の利用増加が見込めるのではないかと。また、若者や一般の方にとって魅力あるお店や、駅前に百貨店などを誘致するなど「津駅に行きたい」思っただけの施策が必要である。社会実験の実施にあたっては、民間企業が参加した場合に経営が成立するのか、採算性が確保できるのかといった観点でも実験を行うべき。（三重県タクシー協会 津支部長）

→魅力があれば、人が集まる。人を集めるには「人が集まること」という意見もある。最初に一定の魅力や人の集まりができれば、必然的に大きくなっていくが、最初がとても大変である。（三重短期大学生生活科学科 教授）

### 3) 津商業高等学校意見発表

・イオンモール津南の芝生スペースでは、季節に応じて座って食事をするにも活用されていると聞いたが、芝生を活用した休憩場所について、実際どのような活動イメージをもって提案されたのか。（津市 都市計画部 部長）

→芝生スペースの活用は、そのイメージである。特に高校生は SNS 向けの写真を撮ることが多く、卒業シーズンになれば制服で写真を撮ることができる機会も限られてくる中で、芝生のような良い景色で撮ることができればよいと考えている。（津商業高等学校 学生）

### 4) 津駅周辺空間コンセプト（案）

- ・コンセプトについては概ね同意。中でも大規模災害は、今後検討していかなければならない観点である。大地震の発生に伴う津波が津駅まで到達すると予測されており、「災害に強いまち」という観点で考えた場合は、駅西側の開発も念頭において検討する必要があるのではないかと。（三重県トラック協会 専務理事）
- ・津駅周辺は「暗い」イメージが強いため、白川郷がライトアップによって観光地として蘇ったようなイメージをコンセプト案の写真の一つに追加し、地域の方にご意見をいただきながら検討してはどうか。次年度の社会実験についても、例えば、イルミネーションの実施や、高校生からの提案にあったゴミ箱を設置するなど、より具体的にワクワクするような実験になるよう、県としても検討していきたい。（三重県県土整備部 部長）
- ・三重県総合文化センターで開催した「そうぶんの竹あかり」については、昨年に引き続き、多くの方が来訪していただいている。そのような催しを津駅周辺で実施し、来訪者がどれくらい公共交通機関を利用して来場いただけるか実験してみてもどうか。（津商工会議所 女性会会長）
- ・津商業高校の発表にもあったように、特に津駅西口の駐輪場について、汚いとゴミが増加するという研究結果もあり、駐輪場の位置について検討する必要があるのではないかと。また、津駅の地下通路の空間の有効活用に向けて検討してはどうか。（近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科 教授）
- ・津駅は、常に一定量の学生が通学等で利用している状況であるが、駅周辺に高校生の居場所が少ないという意見があるため、次年度の社会実験ではそのような観点も踏まえて検討してみてもどうか。（三重短期大学生生活科学科 教授）

### 5) その他

- ・津駅周辺道路空間の目標、空間全体の将来像が関係者間で共有できれば、より効率的に連携した取り組みが行えるのではないかと。（三重短期大学生生活科学科 教授）

以上

## 第2回 津駅周辺道路空間検討委員会 出席者名簿

令和3年12月24日（金） 14:30～  
アスト津 4階 アストホール

区分	所 属	氏 名	出 欠
1 委員長	三重短期大学生活科学科 教授	小野寺 一成	出席
2	有識者 近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科 教授	中平 恭之	出席
3	三重県トラック協会 専務理事	川方 尚	出席
4	交通 関係者 三重県バス協会 専務理事	青木 周二	出席
5	三重県タクシー協会 津支部長	村田 友和	出席
6 委員	経済 関係者 津商工会議所 女性会 会長	松田 弘子	出席
7	津市観光協会 専務理事	奥野 幸司	出席
8	行政 関係者 国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 所長	菅 良一	代理 副所長 藤原 弘典
9	三重県県土整備部 部長	水野 宏治	出席
10	津市都市計画部 部長	渡邊 公隆	出席
11	オブ ザー バー 東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部企画開発部 担当部長	木村 誠司	出席
12	近畿日本鉄道株式会社 名古屋統括部施設部工務課 主査	黒川 雄太	出席
13	三重交通株式会社 バス営業部 部長	高田 和昭	出席
11	意見 発表 三重県立津商業高等学校 商業科 教諭	前田 健	出席
12	三重県立津商業高等学校 ビジネス科	田邊 夏鈴	出席
13	三重県立津商業高等学校 ビジネス科	堀川 ひより	出席
14	三重県立津商業高等学校 ビジネス科	米澤 佑莉	出席
15	三重県立津商業高等学校 ビジネス科	前田 大斗	出席

事務局	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 計画課
	三重県県土整備部 道路企画課
	津市都市計画部 都市政策課